



## H27年度検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定に対して、地域が連携した「水災害に適応した強靱な社会作り」に向けた検討を、平成25年度から継続して検討を進めています。
- 平成27年度の取り組みは、**地域住民の目線を取り入れた「アクションプラン」や「タイムライン」**のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川沿川の**モデル地区を対象に**、地域住民の考える防災行動等に関する意見交換・意見集約の場として**ワークショップを開催**します。

### ● 香川地域継続検討協議会（既存会議）

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日



**連携** 「アクションプラン【行動計画書(案)】」の検討(河川・地域行政と地域住民が連携したタイムラインのとりまとめ)

### ● 水害に強いまちづくり検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県（危機管理課、中讃土木事務所）、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所



モデル地区における地域住民を対象とした情報共有・意見集約

### ★ 水害に強いまちづくりワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川下流部右岸(丸亀市土器町)の地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県（危機管理課、中讃土木事務所）、丸亀市、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所

### 水害に強いまちづくりワークショップの流れ

8/29実施

	情報の共有	意見出しのテーマ
第1回 WS	モデル地区における複合災害(堤防決壊、土砂災害、内水を想定) 既存の情報伝達手段	住民目線による <b>時間軸に応じた防災行動</b> を考える (いつ、誰が、何をするか)
第2回 WS	災害警戒期の <b>タイムライン(たたき台)</b> の提示 (第1回WS意見の反映)	<b>防災行動の課題</b> を考える (タイムラインに従って行動すれば、安全に避難ができるか)
第3回 WS	災害警戒期の <b>タイムライン(素案)</b> の提示 モデル地区における <b>住民目線での課題</b>	<b>水害に強いまちづくり</b> を考える (私たちが出来ることから、始めよう)

## ワークショップの概要

### ◆H27年度のワークショップの位置付け

- 大規模水害発生後の“**地域の生き残り計画**”について、“**住民目線**”で議論する先進的な取り組みです。
- “**上下流の地域が一体**”の広域的な取り組みを進める中で、土器川沿川の**モデル地区を対象**とした検討です(ワークショップは**全3回開催**します)。

### ◆ワークショップのねらい

- 土器川流域において、“**水害に強いまちづくり**”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進していきます。

## H27ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

平成25年度からの取り組みや本検討の詳しい内容、ワークショップの開催告知・報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のバナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「土器川における水害に強いまちづくり検討」、「ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32

TEL: 087-821-1623 (計画課直通) FAX: 087-821-1713



# 「第1回水害に強いまちづくりワークショップ」を開催しました

- 平成27年8月29日（土）に土器川下流部右岸モデル地区（丸亀市土器町）の地域住民等約50名が集まり、「第1回水害に強いまちづくりワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- 第1回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。



## 第1回ワークショップの内容

### ◆第1回ワークショップ検討のテーマ

- 土器川下流部右岸**モデル地区（丸亀市土器町）**を対象に、台風接近や降雨量の増大に伴い、大規模水害や土砂災害、内水氾濫を含む**複合災害**が発生するかもしれない**危険な場面を想定**しました。
- 自宅や職場と避難所の位置関係や避難ルートを確認するとともに、水害等の危険性が高まる場面での、**地域住民や地域コミュニティの防災・避難行動**について、5つのテーブルで検討しました。

### 【検討-1：透明シートと旗立てグッズで検討しました】

- ◆ 自宅から避難所までの**避難ルート**を大規模浸水想定図に記入し、避難に係る時間や浸水時の危険性等について把握・共有し、土器川の堤防が決壊した場合の水害発生時に、**いつ・どこへ逃げるか**をイメージしました。



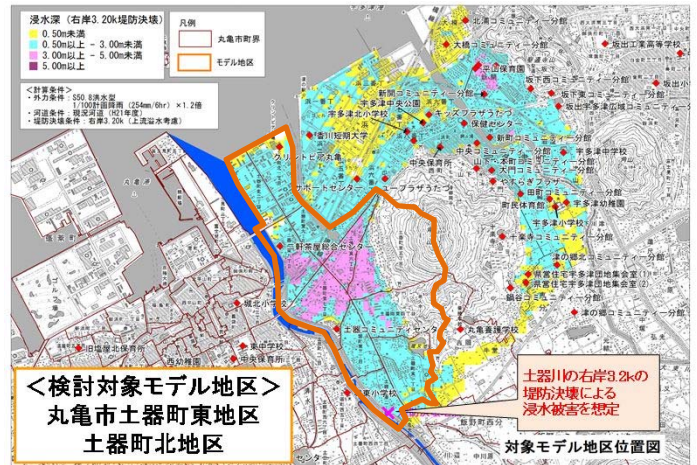
自宅、避難所に旗を立てて、避難に要する時間等を確認しました

透明シートでの検討の様子

### ◆第1回ワークショップを実施して…

- ◆ 水害の危険が迫る中での防災行動に関する数多くの意見が出されました。  
 <例えば>
  - 【自助】 早めに避難する／自宅の2階で待機する／近所の高齢者に声掛けする／自宅周辺の備え etc
  - 【共助】 立地条件で対応が違う／高齢者が多く避難が大変／連絡体制の確認／BCPの作成 etc
  - 【公助】 正確な情報の発信／サイレン等の情報の意味の周知／避難所スペースの確保 etc

次回は『防災行動の課題』を検討します



検討対象モデル地区

### 【検討-2：意見カードで検討しました】

- ◆ 防災・避難行動シミュレーションのために、水害発生前の危険な状況として、『**2つの場面（ステージ）**』を想定しました。



<場面：ステージ1：金曜日 夕方 午後4時頃>  
『台風接近、大雨洪水注意報、避難準備情報発令』

水害発生の危険性がさらに増大

<場面：ステージ2：金曜日 夜遅く 午後10時頃>  
『大雨洪水警報、土砂災害警戒情報、内水被害発生、避難勧告発令』

- ◆ 2つの場面において、“その時、あなたは、地域は、行政は、どう行動するべきか？”をテーマに、意見カードに記入し、意見を分類整理しながら、検討しました。



検討の様子

防災行動等を意見カードに記入し、分類整理しました

5つのテーブルに分かれて、検討しました



テーブル発表の様子